

障がいがある  
受刑者への  
合理的配慮は  
刑務所の  
義務である。

12.14 [土]

14:00-16:00

人権ライブラリー 会議室

参加費/無料

主催 | NPO法人監獄人権センター

人権セミナー

## 障がいがある受刑者への「合理的配慮」は刑務所の義務である。

2024年4月より、企業や団体に対して、障がいがある人への合理的配慮の提供が義務化されました。行政機関である刑務所・拘置所ではそれよりもずっと以前から、障がいがある人への合理的配慮は義務とされています。しかしながら、障がい受刑者が刑務官から虐待されたり、本来は受けられるべき配慮を求めても不許可になるケースが相次ぎ、結果的に、罪を犯した人の更生の妨げになっています。刑務所・拘置所という閉ざされた施設で提供されるべき「合理的配慮」について、皆さんと考えたいと思います。

2024年12月14日[土] 14時～16時 (開場:13時30分)

人権ライブラリー 会議室 (東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4F)

JR「浜松町駅」から徒歩10分、都営地下鉄「芝公園駅」「大門駅」から徒歩5分

**定員** 50名 (事前予約優先、当日参加可)

**参加費** 無料

お申込

① Peatixの申込フォーム

<https://cpr20241214.peatix.com/>



※Peatixの  
アカウント作成は  
無料です

② メール または FAX

お名前、お電話番号  
メールアドレスまたはFAX番号  
参加人数を明記のうえ

メール [info@prisonersrights.org](mailto:info@prisonersrights.org)

FAX (03-5379-5055)

\*なるべく事前予約をお願いします。  
満席の場合はご予約頂いた方を優先します。  
\*オンラインの生配信はありません

主催: NPO法人監獄人権センター

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-16 ライオンズマンション御苑前703

電話・FAX/03-5379-5055 [info@prisonersrights.org](mailto:info@prisonersrights.org) <https://prisonersrights.org>

助成: ファイザープログラム〜心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援

「合理的配慮、差別的取扱いとは何か」

**講師** 崔 榮繁 さん  
(DPI日本会議 議長補佐)

「刑務所における合理的配慮義務違反事案について」

**報告** 大野 鉄平  
(監獄人権センター事務局長、弁護士)

第一部: 講師による講演、報告  
第二部: パネルディスカッション

パネルディスカッションモデレーター

**海渡 雄一** 監獄人権センター代表  
弁護士

#刑務所ラジオ FM 87.4MHz  
やっています!

元受刑者、受刑者家族、  
支援者が思いを語るラジオ  
放送は毎月第2月曜日  
夜10時～10時29分  
東京府中 FM は全国から  
無料で聴けます! →QR から

